

「遅房室伝導(slow pathway)の順行伝導同定の試み」へご協力をお願い

— 当院で発作性上室性頻拍へのカテーテル検査・治療を受ける患者様へ —

研究責任者 岩国医療センター 循環器内科 和田 匡史

1. 研究の背景・目的

発作性上室性頻拍へのカテーテルアブレーション(心筋焼灼術)は確立されたものであり、成功率も90%以上とされるのが一般的です。にもかかわらず、本頻拍の正確な回路は十分解明されておらず治療も慣習的な方法(解剖学的な遅伝導路領域への通電)でされるのが一般的となっています。

しかし、慣習的な治療方法で治療が完結しない亜型が間違いなく存在し治療抵抗性となっており、難治である原因として検査の段階で十分な回路が同定できていないことに原因があると思われれます。

近年、心臓電気生理学検査(心臓カテーテル検査)やその理論の発展にて、従来よりも回路の同定が可能となりつつありますので、この研究の目的は心臓電気生理学検査にて3Dマッピングという最新装置にて視覚的に頻拍の回路の首座である遅房室伝導(slow pathway)の順行伝導を同定する試みを行い、今後の診療において不整脈の患者さんに有用な治療を行えるようにすることで治療成績を向上させることです。

2. 研究の方法

1) 研究対象者

当院で発作性上室性頻拍へのカテーテル検査・治療を受ける患者様を対象とする予定です。

2) 研究期間

2024 年開催倫理委員会承認後～ 2027 年 3 月 31 日

3) 研究方法

研究者がカテーテル検査中の検査所見についての情報を取得し、解析を行います。

4) 使用する情報

この研究に使用する情報として、検査所見から以下の情報を抽出し使用させていただきますが、あなたの個人情報には削除し、匿名化して、個人情報などが漏洩しないようプライバシーの保護には細心の注意を払います。抽出項目は年齢、性別、不整脈の正確な診断、電気生理学検査の計測値、3Dマッピング所見に関する情報です。

5) 情報の保存・二次利用

この研究に使用した情報は、匿名化した上で、研究終了について報告後5年間当院に保存し、新たな医学研究に使用させていただきます。

また、保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、岩国医療センターのホームページに情報を開示してお知らせします。

す。

カルテデータから抽出し評価する観察研究であり、患者さんの個人情報を抹消した状態で解析します。

従って、患者さんの個人情報外部に漏れる心配はありません。この研究にご質問等がありましたら、下記の間合せ先にお尋ね下さい。

<問い合わせ・連絡先> 研究責任者: 岩国医療センター循環器内科

医師 和田 匡史

〒740-8510 山口県岩国市愛宕町1丁目1番1号

TEL 0827-34-1000(代表)